

# JR東海労ニュース

9条堅持!



山岡けんじ

No.1852

2013年7月4日

JR東海労働組合

## 憲法改悪阻止! シリーズ ④

# 改憲で主語が国民から国へ 立憲主義消滅の危機!

安倍自民党政権が進めようとしている改憲は、戦争が出来るために9条などの条文を変えるだけではありません。憲法の根幹そのものを変えようとしているのです。

法律とは、国民の自由を制限し、社会の秩序を維持するために定められています。これに対し、**憲法は国家権力を制限し、国民の人権を保障する**ものです。つまり、憲法は国家権力の暴走を止める役割を果たしているのです。これを「**立憲主義**」といい、憲法前文に謳われています。

現憲法では、**主語は日本国民で、「主権が国民に存することを宣言し**」と謳われています。しかし、『自民党憲法改正草案』では、主語は日本国で、「国民統合の象徴である天皇を戴く国家」としています。従来の憲法の常識をことごとく否定するものです。

要約すると、**国民のための憲法から、国家権力のための憲法**に、180度変えてしまおうというのが自民党の狙いです。

このように改憲された場合、国家権力は暴走し、国民を縛り付け、国民の人権が奪われる危険性が大となります。ミャンマー軍事政権のようになる恐れがあるのです。

皆さん、こんな憲法を許せますか? JR東海労は、自民党が推し進めようとしている改憲には断固反対します。

国家権力が国民を支配可能に!  
戦前以上に国家権力暴走の危険性!